

1 開催日時 令和元年8月27日（火曜日）
開会 午後1時29分 閉会 午後2時46分

2 開催場所 備前市民センター 4階 第1会議室

3 会議区分 定例会

4 出席委員

議席番号	職名	氏名	出欠
1	委員	高橋 千亜紀	出
2	委員	松本 友見	出
3	委員	永島 英夫	出
4	委員	立花 朗	出

5 出席者

職名	氏名	出欠
教育長	奥田 泰彦	出
教育部長	田原 義大	出
教育振興課長	大岩 伸喜	出
学校教育課長	朝倉 健	出
文化振興課長	横山 裕昭	出
幼児教育課長	波多野靖成	出
社会教育課長	竹林 幸作	出

6 付議事件 議案等付議事項のとおり

7 会議状況 議事録のとおり
傍聴人 1人 非公開 あり

8 署名委員 1番 高橋 千亜紀

9 書記 教育振興課総務計画係長 行正 英仁
教育振興課総務計画係 草加 成章

10 その他 次回開催日時・場所
日時 令和元年9月25日（水曜日）午後1時30分 開会
場所 備前市市民センター 4階会議室

議案等付議事項

区分	案件名
議案第27号	令和元年度備前市教育関係補正予算の提出について
議案第28号	令和2年度使用高等学校教科用図書採択について
報告第1号	令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について
報告第2号	令和元年度岡山県学力・学習状況調査の結果について
報告第3号	備前市スポーツ推進委員の委嘱について
報告第4号	教職員の人事異動について

午後 1 時 29 分 開会

教育長 委員の皆様には、令和元年8月教育委員会会議 定例会にご出席いただきありがとうございます。ただ今から定例会を開会いたします。委員の出席は、全員であります。定足数に達しておりますので、令和元年8月備前市教育委員会会議 定例会を開会いたします。

本日の教育委員会会議に傍聴を希望されている方がおられます。備前市教育委員会会議規則第15条の規定により、会議は公開することになっており、教育長の許可をもって傍聴を認めることとします。なお、議事・発言内容に係る委員会の協議は、申し合わせに沿って行います。それでは、傍聴人の入室並びに会議の傍聴を許可いたします。

(傍聴人入室)

議事に入る前に、7月定例会以降の教育行政の概要、教育長の政務について報告いたします。

7月24日、和気閑谷高校魅力化推進協議会へ参加いたしました。この協議会は、地域や保護者の学校運営への参画や支援を推進することで、和気閑谷高校の運営の改善や生徒の健全な育成、地域に根差した信頼される開かれた学校づくりに努め、地域の活性化に資することを目的に設置されました。当日は、高校の取組等の説明後、地域から期待することについて、参加者から意見を

述べました。

7月25日、大内保育園、香登認定こども園の園訪問を実施いたしました。園の現状や課題等について意見交換し、園児の様子を視察いたしました。プールでの水遊びが中心でしたが、生き生きとした姿を見ることができました。

7月26日、岡山県都市教育委員会教育長協議会へ参加いたしました。議事を原案通り可決したのち、「いじめによる不登校児童生徒の就学保障の在り方」についてと、「今後の管理職候補の育成」について各市の取組等を踏まえ、情報交換・協議いたしました。

7月27日、備前市戦没者追悼式へ参加いたしました。厳かな雰囲気の中で、式典を執り行うことができました。

7月30日、備前♡日生架橋マラソン実行委員会を開催し、出席いたしました。田口備前市陸上競技協会会長を実行委員長に選出し、今年度の実施計画案等について協議いたしました。

7月31日、備前市学童水泳記録会へ出席いたしました。猛暑の中、参加した子どもたちの健康を気遣う工夫をしながら、記録会を信仰している様子がよくわかりました。なお、8月5日開催予定の東部地区学童水泳記録会は、35度を超える気候のため、児童の健康を守る配慮から2年連続中止という結果になりました。

同日、2019年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。備前市については、小学校は2教科（国語、算数）ともほぼ県平均並み、中学校は3教科（国語、数学、英語）とも県平均を上回る結果となりました。市内各学校ともきめ細かな指導等授業改善を進めており、その成果が徐々にではあるが見られだしたと考えています。詳細につきましては、学校教育課長から報告いたします。

8月4日、中国中学校テニス選手権大会へ参加いたしました。中国各県から予選を勝ち抜いた男子10チーム、女子8チームが2日間にわたって熱戦を繰り広げました。備前市からは日生中が参加しています。

8月7日、備前市教育講演会を開催いたしました。例年備前市の教育課題解決に資するため実施している講演会です。今回は、関西学院初等部 野村真一先生に「授業におけるユニバーサルデザイン化」の本質的な部分について講演していただきました。教科の本質に迫るためには、授業を焦点化、視覚化、共有化することが必要であることを力説しておられました。

8月8日、県教委主催の学力向上施策に関する講演会に参加いたしました。国立教育政策研究所総括研究官の千々布敏弥先生から学力上昇件における学校経営指導体制について講話を聴きました。学力上昇県に共通すること、停滞県に共通すること等から、岡山県のあるべき姿について考

えることができました。

8月18日、まちづくり講演会に参加いたしました。住民自治を進めていくためには、議会の存在意義である議員同士の討議と議決を重視する議会でなければならないことを強調されていました。

8月25日、「だっぴ」を市民センターで実施いたしました。「だっぴ」とは、NPO法人だっぴが行う、大人と中高生たちが自由に語り、自分の人生や将来の仕事などの価値観を共有するトークイベントです。今年度で3年目の開催となります。今年度は、大人、中高生、総勢約70人が意見を交わし、有意義なイベントとなりました。以上で報告を終わります。

それでは、議事に入らせていただきます。

まず、1番の前回定例会会議録の承認ですが、令和元年7月定例会の会議録について、皆さんでお気づきの点はございませんか。

教育委員（発言なし）

教育長 ないようですので、令和元年7月定例会の会議録については承認することとします。

次に、2番の教育長報告のうち「生徒指導経過」等に関する部分は、会議規則第15条第4号及び6号の規定に基づき、会議を公開することにより権利利害に影響を及ぼすおそれのある事項、教育行政の公正又は円滑な運営に支障を生ずるおそれのある事項として、また、4番 議案等付議事項のうち、議案第27号 令和元年度備前市教育関係補正予算の提出については、会議規則第15条第5号の規定に基づき、議会の議決を経るべき議案の原案に該当するものとして、議案第28号 令和2年度使用高等学校教科用図書の採択については、会議規則第15条第6号の規定に基づき、会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障を生ずるおそれのある事項に該当するものとして、非公開とするよう発議します。

また、申し合わせにより、議案第27号 令和元年度備前市教育関係補正予算の提出について及び議案第28号 令和2年度使用高等学校教科用図書の採択については、「生徒指導経過」等に関する部分に引き続き、審議いたします。

このことに賛成の委員は挙手願います。

教育委員（全員挙手）

教育長 全会一致により非公開と決定しました。

それでは、学校及び園の現状報告をいたします。

非公開該当部分の報告になりますので、非公開とします。傍聴人は退席をお願いします。

（傍聴人退室）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【 非公開審議 】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(傍聴人入室)

教育長 それではこの際、ただ今までの非公開審議といたしました議案付議事項の結果を申し上げます。議案第27号 令和元年度備前市教育関係補正予算の提出については、全会一致で承認といたしました。議案第28号 令和2年度使用高等学校教科用図書の採択についても、全会一致で承認といたしました。

次に、3番 会議録の署名委員の決定ですが、本日は1番の高橋委員にお願いいたします。

次に、4番 議案等付議事項について審議を行います。

まず、報告第1号 令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について、事務局から説明願います。

学校教育課長 平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要について、報告いたします。37ページからです。まず、42ページをご覧ください。

本調査は、小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施されました。備前市では、小学校6年生230人と中学校3年生245人が受験しております。結果の概要は、小学校6年生の2教科平均及び国語・算数ともに、国・県の平均正答率をやや下回っています。中学校3年生は、3教科平均及び国語・数学・英語ともに国・県の平均正答率をやや上回っています。英語については、県平均との差が比較的大きい状況です。

同一集団の平均正答率の経年変化については、現在の中学校3年生が、平成28年度、小学校6年生のときに全国学力調査に参加したときの結果と今回の結果を経年比較しています。若干ではありますが、県平均との差は縮小しています。数値で比較しますと、県平均や全国平均多少の差はありますが、全体的な傾向としては、ほぼ全国平均並みで概ね良好な状況と言えます。平均正答数の分布を見ますと、備前市の分布の様子はほぼ正常曲線です。低位の子が少なく、高位の子も多い状況がある中で、一番多い中位層の子どもたちも伸ばしていく日々の授業が重要であると考えます。従って、昨年度から、学力向上に向けた新たな施策として、教員の資質向上と校内研修の活性化を目的とし、各校の中堅教員と指導主事による県外視察や計画訪問に取り組んでいます。今回の学力・学習状況調査の結果からも、先日の教育講演会のテーマでも取り上げましたユ

ニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善の取り組みを継続していくことが大切であると考えます。

本日の資料については、今後、ホームページ等で公開する予定です。以上で報告を終わります。

教育長 報告第1号の説明が終わりました。何か質問はありますか。

教育委員 質問ではありませんが、6年生は、在籍している児童数が一番多い学年で、以前より学力の二極化の心配があるように聞いてきた学年だったが、結果を見ると、学力の二極化の傾向が弱いとでていることと、無回答率が下回っていることで、安心しました。

学校教育課長 市全体で見ますと、このような傾向にありますが、個々に見ますと、人数の少ない学校では二極化の傾向がある学校もありますので、安心しきれないところです。ただ、先ほど申しましたように、授業改善の視点の中で、低位の子も伸ばすが中位の子も上げていくことが必要かなと感じていまして、今の取り組みを続けていくことにより、子供たちの学力がついていくのではないかと考えています。確かに、無回答率が少なくなったことはよかったと感じています。学習意欲の向上、問題にあたろうという気持ちが強くなったのかなということで、うれしく思っています。

教育長 以前は無回答率が高く、問題文を読んだだけで回答をあきらめてしまう子も多くいましたが、その傾向が小さくなって無回答率が下がってきた。長文でもしっかり問題を読んで回答しようという気持ちの子が増えたんじゃないかと思います。それから、読書活動の活性化ということで、読書の輪が広がっていることも長文を読むことへの抵抗感を少なくしているのではないかと、とも思っております。

ほかに委員さんで何かありますか。

教育委員 感想ですが、全国の結果について、小学校では多少課題が残るようですが、全体的にはおおむね良好な状態で、大変うれしく思っております。分析の中にもありますが、生徒の学習意欲の高さであるとか、日々の授業実践の工夫など、40ページ、41ページの学校及び教育委員会の取組にあるように、項目が9点あって授業改善に向けて取組をされていますが、そういったことの成果が出ているのではないかと考えています。ただし、この2番の学校及び市の教育委員会の取組が9項目ありますが、視察や研修を行って新たな取組も実践されていくと思いますが、これ以上増えると、学校にしる、教育委員会にしる、かなり負担になるのではないかと考えていますので、今まで実践した中でより効果のあるものを精選して重点的に取り組むことをやってほしいと思います。

もう一点、テスト結果ではありませんが、質問紙の調査のなかで、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」とか「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」、「自分には、よいところがあると思いますか」等々に非常に良い結果が出ています。全国や県と比較して良い結果が出て非常に満足しています。備前市の子供たちが、総合的な学力で健全に育っているということを確認しました。

最後に、いつもテストがあるたびに言わせてもらっていますが、正答率のわずかなポイント差で一喜一憂すべきではない。テスト結果を児童生徒の指導に生かすという本来の目的をぜひ見失わないようにしていただいて、学力とは何かということを常に考えていただいて、その考えを、学校とか園とか、保護者とか市民とかへ浸透させてほしいと思っています。

教育長 貴重なご意見ありがとうございました。

今、永島委員が言われたように、質問紙のなかで「今住んでいる地域の行事に参加していますか」とか「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」などに非常に良い結果が出ていて、良い傾向だというお話がありましたが、これは学校教育だけでできるものではなくて、社会教育も含めて地域の皆さんの力、学校を応援してくださる力、ボランティアなど学校の中へ入って応援してくださるのも要因の一つだろうと思っています。

先日、社会教育課が実施しただっぴの事業で子供の意見を聞いてみると、前向きな、郷土を愛して自分たちが住んでいる地域を良くしていこうという子供たちが多いなと感じました。そういった行事も学校教育以外のところですが、大切にしていかなければならないと感じました。これからは教育委員さんにもご協力をお願いすることがあると思いますが、その時はよろしく願いいたします。

教育長 次に、報告第2号 令和元年度岡山県学力・学習状況調査の結果について、事務局から説明願います。

学校教育課長 平成31年度岡山県学力・学習状況調査結果における備前市の概要を報告いたします。54ページからをご覧ください。本調査は、小学校3年生から5年生、及び、中学校1年生と2年生を対象に実施されました。備前市では、小学校3年生が222人、4年生が186人、5年生が210人、中学校1年生が224人、2年生が176人受験しております。

それでは、ポイントのみ説明いたします。

まず、1番 学力調査の平均正答率についてです。備前市の状況は、本年度は、どの学年も県の平均正答値を下回っています。同一集団の経年比較においては、県平均との差を比較したものを

載せております。県の平均正答率を基準に考えておりますので、単純に比較できるものではありませんが、昨年度も本年度も概ね良好の範囲内ではありますが、県平均との差を比較すると、昨年度概ね県の平均正答率を上回っていたものが県平均を下回っています。

学習状況調査の調査対象は、小学校5年生、中学校1年生及び2年生です。質問紙には、回答するときは前の学年を思い出して回答するよう指示がありましたので、中学校1年生ですと昨年度の小学校6年生のときについて答えているということになります。いくつかの項目をピックアップしてのせておりますが、昨年度までの傾向とほぼ同様の結果です。

先ほど説明いたしました、全国調査とこの県調査の結果は、数値だけを比較すると相反した結果に見て取れますが、調査全体の傾向でいえば概ね良好の範囲内の結果であるということから、今後の取り組みの方向性といたしましては、先ほど全国調査の報告の際にお話しいたしましたユニバーサルデザインの視点を取り入れた中位層以上をしっかりと伸ばしていくための授業改善の取り組みを継続していくことが大切であると考えます。

なお、今後、お手元の資料から同一集団の経年比較を除いたものをホームページで公表する予定としております。以上で報告を終わります。

教育長 報告第2号の説明が終わりましたが、委員の皆さんでご意見とか質問がありましたらお願いいたします。

教育委員 全国と岡山県の調査ともに、「自分が住んでいるところが好き」という回答が多いことはうれしく思いました。また、「自分には良いところがあると思う」という自己肯定感も思ったより数値が良くてうれしい結果だなと思いました。自分のことを大事にできていると感じました。

教育長 次に、報告第3号 備前市スポーツ推進委員の委嘱について、事務局から説明願います。

社会教育課長 議案書60ページをご覧ください。スポーツ基本法第32条第1項の規定により、備前市スポーツ推進委員を委嘱したので報告いたします。スポーツ推進委員は、今回の追加での委嘱により23名となります。委嘱期間は令和元年8月1日から、令和3年3月31日までとなっています。

教育長 事務局の説明が終わりましたが、委員の皆さんで何か質問はありますか。

教育委員（発言なし）

教育長 次に、報告第4号 教職員の人事異動について、事務局から説明願います。

学校教育課長 61ページをご覧ください。教職員の人事異動について報告いたします。

日生東小学校の事務職員 磯本 茜事務主事の産前産後休暇取得に伴い、原田千鶴 臨時的事務職員を産休代員として採用いたしましたので報告します。

原田事務職員は、昨年度まで東鶴山小学校に事務職員に勤務しており、経験豊富な方でありま
す。以上で報告を終わります。

教育長 委員の皆さんで何か質問はありますか。

教育委員（発言なし）

教育長 次に、5番 次回の教育委員会会議の決定ですが、事務局案を説明願います。

教育振興課長 9月の定例会につきましては、9月25日水曜日、午後1時30分から市民センターで開
催することを提案いたします。

また、10月定例会につきましては、10月30日水曜日、午後1時30分から市民センターで開催する
ことを提案します。

教育長 それでは、次回定例会は9月25日水曜日、午後1時30分からということで、いかがでしょ
うか。

教育委員（異議なし）

教育長 それでは、次回教育委員会会議 定例会は9月25日水曜日、午後1時30分から市民センター
で開催いたします。また、10月定例会は10月30日水曜日の予定とし、会場は市民センターで行い
たいと思います。次回の会議で決定ということになります。

次に、62ページ、63ページに9月行事予定及び9月共催・後援一覧が事務局より提出されていま
す。委員の皆さんで何か質問はありませんか。併せて64ページには、令和元年度運動会・体育会
出席者一覧が提出されています。委員さんから何かありましたらお願いします。

教育委員（発言なし）

教育長 ないようですので、その他で事務局から何かありますか。

幼児教育課長 幼児教育課からの報告ですが、昨日の厚生文教委員会に資料提出を求められた保
育園・幼稚園・認定こども園の入園保留数、及び待機児童数を報告いたします。

この表はあくまで入園希望者の第一希望園を掲載しています。今は第2希望、第3希望をお聞き
していますので、園ごとの待機児童数は就園によって毎月変動します。市全体では74名が入園保
留者であり、そのうち待機児になるのは57名です。該当しない児童は認可外の園に入園、育児休
業の続行、現在市外の方で備前市の園を希望あるいは広域入所制度を利用希望の方、そして3歳児
で入園可能でも下のきょうだいが入園できないため、入園できるまで待つという方です。また、
57名のうち、24名は一時保育利用中です。この一時保育利用者は待機児童に含める、含めないに
ついて都市部では含めない傾向があります。

4月教育委員会会議で46名と公表しましたが、その後も0歳児の入園希望が22名、1歳児の入園希望

が5名、2歳児の入園希望が3名入園保留になっており、毎月のように6ヶ月になった0歳児の入園希望者が後を絶たない状況です。なお、5月以降の新規入園者は12名です。臨時職員も4月以降6名を確保しましたが、産前産後休暇の女性職員が3名おり、常勤の臨時職員はそちらのフォローに対応している状況です。以上です。

教育長 説明が終わりました。委員さんから何かありますか。

教育委員 伊部認定こども園と吉永認定こども園の待機児童が多いですが、この理由をどのように分析していますか。

幼児教育課長 伊部は204人ですが、新しい園であることと、伊部には新しくアパートが建っているので、転入者、若い夫婦、子供が増えているのではないかと考えています。吉永については、3歳以上、2歳以上が優先的に入園してきましたが、伊部に次いで0歳児が多くなっています。伊部も吉永も第1希望が保留になるのは、0歳児の申し込みが多い、ということは若い夫婦が多い、出生が市内においても突出しているという分析であります。

教育長 ほかにありますか。

文化振興課長 旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会の解散について報告いたします。

備前市が世界遺産の取り組みを始めたのは平成14年9月のことです。当初は『世界遺産登録推進委員会』といたしました。平成22年8月から『旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会』として、同会則第3条の世界遺産登録のための調査研究及び資料の収集、広報活動ならびに関係機関との連絡調整などの事業を推進してまいりました。

平成27年度から文化庁が始めた日本遺産に茨城県水戸市、栃木県足利市、大分県日田市と備前市の4市シリアル型で申請した「近世日本の教育遺産群 一学ぶ心・礼節の本源一」が日本遺産に認定されました。これを契機に同年5月末に水戸市・足利市・日田市で構成していた「教育遺産世界遺産登録推進協議会」に備前市も正式に加盟し、日本遺産についてだけでなく世界遺産登録推進についても連携していくこととなりました。4市の活動は具体性を増し、昨年度には、「検討状況報告書（素案）」の内容に厚みを加え、熟度を高めた「検討状況概要報告書」を文化庁に提出。現在は、文化庁と協議を重ねながら「検討状況報告書」の本編策定に邁進するとともに、さまざまな世界遺産登録推進事業および日本遺産の魅力発信推進事業も展開しています。

これらのことから、世界遺産登録に必要な事業は、『教育遺産世界遺産登録推進協議会』で具体的に行われており、『旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会』の目的が確実に引き継がれ、展開しております。これらのことから、旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会の目的は達成されたとみなし、今年度をもって解散（会則第16条）することが7月26日に開催された総会で承認されまし

た。以上です。

教育長 説明がありました。委員さんから何かありますか。

教育委員 (発言なし)

教育長 ほかにありますか。

社会教育課長 スポーツ関連イベントについて、報告いたします。

昨年度4年ぶりに開催いたしました「備前♡日生大橋マラソン」につきまして、去る7月30日に第1回の実行委員会を開催し、令和2年3月15日、日曜日に開催することと決定しました。実施種目、コース等の開催内容は昨年同様とし、定員を1,500人として11月頃から参加者を募ることとしています。

次に、例年実施しています備前市民スポーツフェスティバルにつきましては、本年度は10月14日、月曜日の体育の日に開催することとしています。本年度も、各種スポーツ団体によるさまざまな競技の体験コーナー、テント村などを予定しています。

最後に、浜山運動公園野球場改修工事の竣工、利用開始を受け、このたび「ベースボールフェスタin備前」と称しまして野球イベントを開催する予定としています。開催日時は10月5日土曜日、内容としましてはプロ野球OBを招いての、小中学生を対象とした野球教室を中心に企画しています。既に市内の小中学生の団体には個別に声掛けをさせていただいていますが、併せて一般にも参加を募っていくこととしています。

教育長 説明が終わりました。何か質問はありますか。

教育委員 (発言なし)

教育長 ないようですので、事務局からほかに報告はありますか。

教委育部長 先般より教育委員皆様にご審議いただきました、備前市中学校再編整備実施計画について今後の流れについてご説明します。

先般審議いただいた実施計画に若干、字句の修正等を加えたものを、今後、議会へ報告を行った後、地域への説明会を、10月末を目途に行ってまいりたいと考えています。その後本年中に計画を決定し、再度教育委員さんに審議、決定をいただき、今年中に再編に向けた準備委員会を立ち上げていきたいと考えています。以上です。

教育委員 説明会の対象地区はどこですか。

教育部長 当初意見交換会を行った全地区で実施していきます。

教育長 ほかにありますか。

教育委員 (発言なし)

教育長 次に配布物ですが、一つは、令和元年度市町村教育委員会研究協議会第2ブロックが鳥取県で開催されます。参加希望の方は、9月13日までに事務局へご連絡ください。もう一つは、岡山県市町村教育委員会連絡協議会から令和元年度総会結果が届いております。後ほどご覧ください。ほかに、委員さんから何かありますか。

教育委員 長期休業中の学校閉庁の状況について、スムーズにいったのかどうか、報告いただけたらと思います。

学校教育課長 台風が来ましたので、いくらか管理職は学校の様子を見に行くなどありましたが、基本的には閉庁ということなので、事務局でも巡回をして無理なくできるのかな、という感触は持っています。毎日は無理でも、1日おきでも来年度以降も見回りをしながら実施できるのではないかと考えています。管理職からは概ね好評で、しっかり休めたのではないかと思います。

教育長 初年度にしては混乱なくできたと思いますし、緊急連絡も地域、保護者から入って来ていませんし、来年度以降も学校閉庁を続けていきたいと思っています。ほかにありますか。

教育委員 (発言なし)

教育長 ないようですので、以上で8月教育委員会会議 定例会を閉会します。

午後 2 時 46 分 閉会